



本当にあった怖い話

症例で
学ぶ

呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

難易度
★★★★☆

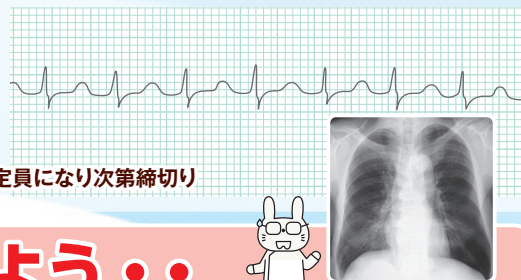
開催日：2020年 6月7日(日) 10:00～16:10

会場：インターネット生ライブ中継

講師：曷川 元 先生 (日本離床研究会 学術研究部)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外も受講可)

受講料：一般 9,800円 会員 8,800円 (税込) ※先着順：定員になり次第締切り

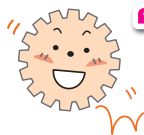


急変・悪化したらどうしよう・・・

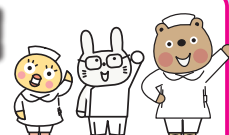


そんな不安を吹き飛ばすとおきの手段とは？

1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて・・・そんな悩みはありませんか？ そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活きた知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！ さあ、あなたもベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



“教科書だけ”の知識を“活きた知識”にする！ 50の症例で学ぶアセスメント成功術！！



Lesson 01 **ここがチェックポイント！呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ！！**

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。
すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子を見て良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成！

やってみよう！こんな場合は異常？

Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下！
胸痛を伴ってSpO₂ 88%に低下、呼吸音は正常
人工呼吸器を装着したらPaCO₂が50torrに！



このコマで取り上げるパラメータ

血液データ / 心電図 / 血液ガスデータ /
フィジカルアセスメント

Lesson 02 **こんな場合は離床してはイケナイ！疾患別にみるデータ解釈のポイント**

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫！？
そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説！
これを知っていればビクビクしないで大丈夫！！

・肺炎 ・誤嚥性肺炎 ・術後患者 ・心不全増悪
・COPD急性増悪 ・心筋梗塞後 ・不整脈患者 ・脳血管疾患合併例 ほか



Lesson 03 **こんな症例は急変する！見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応**

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。
「ここだけは！」というアセスメントポイントを徹底解説！もし急変した時の対応もバッチリ学習！！

呼吸困難を訴えている！

胸痛を訴えている！

投薬で明らかに様子が変わった！

人工呼吸器装着中になにかおかしい！

意識レベルが低下した！

体位変換したら呼吸がおかしい！ ほか



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F

ホームページ <http://www.rishou.org/>

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683

Eメール jsea@rishou.org

